

北上市在宅医療介護連携推進事業  
令和3年度事業報告書

令和4年7月

北上市福祉部長寿介護課・北上市在宅医療介護連携推進センター

## 1. 基本事業

### (1) 多職種が連携しやすい環境整備

#### ①連携資源

『北上市内居宅介護支援事業所等ケアマネジャー一覧表』の発行・配付

#### ②市民啓発・広報

##### ●『私のきぼうノート』の配付

	令和3年度	延べ数
長寿介護課窓口	397部	2,200部
出前講座・勉強会等	94部	1,900部
市内医療機関	480部	1,600部
合計	971部	5,700部

※配付医療機関数 13か所

##### ●広報きたかみ『かしこく歳をかさねるためのまめ知識』コーナーへの記事掲載

令和3年度5月号	なんでも食べられるお口づくりを
令和3年度6月号	コロナ禍で高まる熱中症の危険
令和3年度7月号	「わたしのきぼうノート」で元気なうちから人生の心づもりを
令和3年度11月号	自分に合った医療を受けるための備えはしていますか？

#### ③研修・人材育成

##### ●医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会

回	開催日	場所	テーマ・講師	参加者数
1	令和3年9月17日(金)	オンライン	「地域リハビリテーションについて学ぶ」 ホームケアクリニックえん 作業療法士 杉田賢二氏、北上済生会病院 作業療法士 荻原聖氏	82人
2	令和3年11月16日(火)		「介護職員のための感染症対策研修会」北上済生会病院 感染症 制御実践看護師 小原直子氏	26人
3	令和3年12月9日(木)		「慢性心疾患について理解する 在宅 チームアプローチについて理解する」 日高見中央クリニック 医師 小池裕之氏	57人

##### ●ケアマネジメント研修会

開催日	場所	テーマ・講師	参加者数
令和3年8月2日(月)	北上済生会病院	「ケアマネ基礎講座きたかみ編」 地域包括支援センター主任ケアマネ部 会、在宅きたかみ	42人
令和3年12月16日(木)	技術交流センター	「介護予防ケアマネジメント研修実践編」 地域包括支援センター主任ケアマネ部 会、市権利擁護支援センター	28人

●出前研修会

開催日	場所	テーマ	参加者数
令和3年8月3日(火)	及川脳神経内科クリニック	心づもり勉強会	10人

④広報

●連携支援だよりの発行

令和3年度は未発行

●ホームページの運営

情報発信、社会資源・情報共有シート・連携シートの掲載

⑤情報連携ツールの活用

いわて中部ネット活用方法の検討、新たな情報共有ツールの開発検討

⑥広域連携

開催日	場所	内容
令和3年11月25日(木)	オンライン	新潟県十日町市魚沼郡医師会・つまり医療介護連携センター「多職種連携研修会」での事例報告
令和3年11月26日(金)		青森県三戸町「在宅医療・介護連携推進研修会」

(2) 連携コーディネート

①連携に関わる専門窓口

→別紙 資料No2 在宅きたかみ事業報告書（相談業務）参照

②職種間コーディネート

●北上市在宅医療介護連携推進協議会の開催

回	開催日	場所	議題	参加者数
1	令和3年7月8日(木)	北上済生会病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北上市在宅医療介護連携推進協議会設置運営要領の一部改正について</li> <li>・北上市在宅医療介護連携推進事業第Ⅲ期総括及び令和2年度事業報告</li> <li>・令和3年度北上市在宅医療介護連携推進事業計画(案)</li> </ul>	26人
2	令和3年12月21日(火)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度北上市在宅医療介護連携推進事業経過報告</li> <li>・北上市在宅医療介護連携推進事業評価について</li> <li>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について</li> <li>・きたかみ健康福祉ポイントについて</li> </ul>	27人

※3月に予定していた第3回会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

- 訪問歯科診療用ユニットの貸与（北上歯科医師会への貸与）

利用件数	101件
------	------

- 訪問歯科診療パンフレットの改訂  
令和3年9月、5,000部作成、関係機関に配付

- 自立支援型地域ケア会議「くらしいききミーティング」

回	開催日	場所	事例提供者	参加者数
1	令和3年7月27日(火)	済生会病院	地域包括支援センター展勝地	24人
2	令和3年10月26日(火)	北上市役所	地域包括支援センター北上中央	23人
3	令和3年11月17日(水)	済生会病院	地域包括支援センターわっこ	26人
4	令和3年12月21日(火)		地域包括支援センターいとよ	25人
5	令和4年3月17日(木)	北上市役所	地域包括支援センター本通り	20人

## 2. 重点事業

### (1) 在宅チームケア体制の構築

#### ①入退院支援

- 入退院支援部会

回	開催日	場所	議題	参加者数
1	令和3年7月15日(木)	北上済生会病院	・令和3年度活動方針 ・入退院支援状況と課題の共有	15人
2	令和3年12月14日(火)		・入退院支援ハンドブックの見直しについて ・入退院支援におけるルールづくり	14人

- 入退院ハンドブックを活用した研修会

事業所単位・各職能・病院単位の研修会の後方支援を実施

#### ②認知症支援

- 認知症サポーター養成講座

回	開催日	実施団体	参加者数
1	令和3年4月14日(水)	北上信用金庫（新採用職員研修）	4人
2	令和3年5月26日(水)	更木地区住民グループ	3人
3	令和3年6月24日(木)	横川目3区住民グループ	4人
4	令和3年7月7日(水)	東北労働金庫（職員研修）	1人
5	令和3年7月30日(金)	第一生命保険株式会社盛岡支社（職員研修）	13人
6	令和3年9月22日(水)	ふれあい介護保険相談室（職員研修）	2人
7	令和3年10月6日(水)	北上市役所（新採用職員研修）	28人
8	令和3年10月20日(水)	ご近所おたすけサポーター養成講座①	27人
9	令和3年11月12日(金)	社会福祉協議会和賀支部役員合同研修会	31人
10	令和3年11月18日(木)	口内ふれあい福祉委員会	25人

11	令和3年11月19日(金)	口内いきいきクラブ	20人
12	令和3年12月1日(水)	北上市議会	15人
13	令和3年12月7日(火)	社会福祉協議会和賀支部ひだまり学園	10人
14	令和3年12月13日(月)	ご近所おたすけサポーター養成講座②	13人
15	令和4年3月4日(金)	ライフデリー（職員研修）	2人
16	令和3年3月17日(木)	特別養護老人ホームさくら爽（職員研修）	6人
合計			204人

●孫世代のための認知症講座

令和3年度は実績なし

●ICTを活用した見守り体制づくり

スマートフォンアプリを活用した「オレンジセーフティネット」の運用開始

●VR認知症体験会（岩手県社会福祉士会中部ブロック主催事業）

開催日	場所	参加者	参加者数
令和3年7月19日(月)	専修大学北上高校	専修大学北上高校3年生	47人
令和3年12月13日(月)	さくらホール	民生委員	85人

●認知症カフェ「ふらっと」

回	開催日	場所	内容	参加者数
1	令和3年6月21日(月)	日本現代詩歌 文学館カフェス ペース	「認知症カフェ」ってなあに？	8人
2	令和3年7月19日(月)		こんなときの介護保険	7人
3	令和3年10月18日(月)		消費者被害に遭わないために	6人
4	令和3年11月15日(月)		私の介護体験	7人
5	令和3年12月20日(月)		免許返納のタイミング	6人

●認知症初期集中支援チーム

※令和3年度は、地域包括支援センターのケースワークの中で認知症専門医との連携により支援が終結したケースが多く、チームの稼働実績は無し

●「認知症あんしんガイド」の改訂

令和4年3月発行、1,000部作成、関係機関に配付

●認知症ワーキンググループ（認知症施策研究会）

回	開催日	場所	内容	参加者数
1	令和3年4月26日(月)	北上市役所	・令和3年度事業について	8人
2	令和3年5月17日(月)	日本現代詩歌 文学館	・令和3年度事業について	7人
3	令和3年6月21日(月)		・認知症スローガンについて ・店舗アンケートの調査報告	8人
4	令和3年7月19日(月)		・店舗アンケートの調査報告 ・認知症スローガンについて	7人
5	令和3年9月27日(月)	オンライン	・認知症ケアパスについて	8人
6	令和3年10月18日(月)	日本現代詩歌	・認知症ケアパスについて	8人
7	令和3年11月15日(月)	文学館	・認知症ケアパスについて	9人

8	令和3年12月20日(月)	日本現代詩歌 文学館	・オレンジセーフティネット、徘徊模擬訓練について ・認知症ケアパスについて	9人
9	令和4年1月18日(火)	北上市役所	・認知症ケアパスについて	9人
10	令和4年2月15日(火)		・認知症ケアパスについて	8人
11	令和4年3月16日(水)		・令和4年度事業について	9人

●北上医師会認知症専門医と認知症ワーキンググループの連携会議

開催日	場所	内容	参加者数
令和3年11月19日(金)	北上済生 会病院	・治療が困難なケースの紹介先について ・オレンジセーフティネットについて ・認知症連携パスについて ・認知症スローガン、ケアパスについて	12人

③診診連携・病診連携

●在宅きたかみ運営推進委員会

開催日	場所	内容	参加者数
令和3年11月2日(火)	北上済生 会病院	・胆江地域メディカルコントロール協議会の取組についての情報共有 ・北上市救急医療情報キット見直についての情報共有 ・心づもり事業報告	9人

●在宅待機支援事業（県医師会受託事業）

利用件数	6件
------	----

●在宅医療スキルアップ研修会（北上医師会主催事業）

開催日	場所	内容	参加者数
令和4年1月18日(火)	オンライン	・講演「在宅医療からみた北上市の現状と課題」在宅きたかみ センター長 柴内一夫 ・北上市の在宅医療のバックアップ体制紹介 在宅きたかみ MSW 菊池涼子 ・在宅医療シンポジウム「北上地域の在宅医療の取組から」コーディネーター／ホームケアクリニックえん 医師 千葉恭一氏、シンポジスト／日高見中央クリニック 医師 小池裕之氏、むらさきのクリニック 医師 岡本和美氏、茂木内科医院 医師 茂木格氏	67人

④看取りの支援

『北上市介護施設看取り実態調査報告書』（令和3年3月実施）に基づく課題分析については未

実施

⑤心づもり支援（市民のケア選択支援）

●心づもり勉強会の開催

開催日	団体名	場所	参加者数
令和3年8月3日（火）	地域包括支援センター展勝地	及川脳神経内科クリニック	7人
令和3年11月26日（金）	高齢者大学	藤根地区交流センター	40人
令和3年11月28日（日）	北上市地域婦人団体協議会	和賀町総合福祉センター	16人
令和4年3月18日（金）	ふれあいデイサービス	口内地区交流センター	20人

※新型コロナウイルス感染症の影響により、2件中止となった。

●ノート作成班

回	開催日	場所	内容	参加者数
1	令和3年10月28日（木）	オンライン	・「わたしのきぼうノート」の活用状況 ・ノート改訂のスケジュール確認 ・意見交換	13人
2	令和3年12月16日（木）		・「わたしのきぼうノート」市民ヒアリング報告 ・意見交換	14人
3	令和4年1月25日（火）		・ノート改訂方針案について	11人

⑥市民のヘルスリテラシー向上支援

●フレイル予防の普及啓発

きたかみいきいき通信の発行	12回
きたかみいきいきカレンダーの発行	12回

●きたかみいきいき体操の推進

体操グループ数	68グループ
参加者数	約1,000人

●出前講座の開催

講座名	実施件数	参加者数
幸せに歳を重ねるための暮らしのヒント	6件	100人
げんき百歳大作戦	1件	10人

※新型コロナウイルス感染症の影響により16件中止となった。

●出張健康づくり教室（試行）の開催

実施地区数	2地区
参加者数	20人

※黒沢尻西地区をモデル地区に設定し、全9地区での開催を予定していたが、感染症予防のため、6月以降中止となった。

⑦新型コロナウイルス感染症対策

●新型コロナウイルス感染症対策会議

開催日	場所	議題	参加団体数
令和4年2月3日(木)	オンライン	・情報交換	14団体
令和4年3月24日(木)		・医療法人社団敬和会からの情報提供 ・情報交換	9団体

(2) 医療・介護人材の育成

→1.基本事業の(1)③研修・人材育成を参照

(3) 在宅医療介護連携推進事業の評価

在宅医療・介護に関する統計情報を基に検討を行い、評価項目を定めた。次年度から、年1回モニタリングを行う。

(4) 身寄りのない高齢者の支援体制の構築

●北上市地域連携ネットワーク会議への参画（北上市権利擁護支援センターとの連携）

日時	場所	内容
令和3年11月18日（木）	オンライン	関係機関同士の情報共有、連携

●ケアラボ@きたかみ

回	開催日	場所	テーマ	参加者数
18	令和3年6月18日(金)	北上済生会病院	各機関の現場職員が参集し5回のワーキングを実施。「身寄りのない人への支援」をテーマに絞って現状と課題の論点整理を行った。	20人
19	令和3年10月13日(水)	オンライン		18人
20	令和3年11月22日(月)	技術交流センター		16人
21	令和3年12月13日(月)	北上済生会病院		16人
22	令和4年3月15日(火)	オンライン		17人

・身寄りのない人(支援できる家族がいない、家族関係が悪く支援を拒否等)の支援の課題については、令和4年度に課題の深堀を行い、課題解決のための施策立案につなげていく。

・市権利擁護支援センター、社会福祉協議会、社会福祉法人連絡会等と現状と課題の共有を行い、不足する社会資源の共通認識を図る。

3. 総括

今年度は、オンラインを積極的に活用しながら、ウィズコロナの体制をとり、事業を自粛した令和2年度よりも積極的な事業展開を行った。特に研修事業を計画的に行い、医療介護人材の継続的な人材育成に取り組んだ。

また、これまでに構築した連携のネットワークを活かし、認知症、介護予防の新たな施策に取り組むことができた。

事業の評価については、評価項目を定め、次年度以降モニタリングしながら事業の推進状況を確認していくこととした。

相談件数は前年比、約20%増加し、傾向としては、「かかりつけ医がいない」、「かかりつけ医がいてもうまく医療にアクセスできない」という背景から、緊急の受診が必要なケースが主であった。その他、主介護者の体調不良等で緊急の受け入れ先や、レスパイト入院、長期間に渡ってのショートステイを利用しなければならない現状などの相談が寄せられた。その多くは一人暮らし高齢者や身寄りがない人、認知症高齢者、高齢・障がい世帯、低所得者世帯、虐待などのケースであり、高齢者や、医療・介護分野にとどまらない重層的な関わり



と長期の支援が必要であることが見えてきた。

ケアラボ@きたかみで「身寄りのない人への支援」をテーマにワーキングを行ったが、すぐには解決に至らないケースも多く、市民も含む複数の関係者が支え、関わり続ける伴走型の支援体制と、必要なタイミングを逃さずに介入する、課題解決に向けた支援体制の確立が必要であり、これまで当協議会で築いてきた医療・介護・行政の連携体制を土台として、継続して、更なるネットワークの構築を目指すことが必要である。